

エネルギー応用研究所 計画グループ

計画チーム

4ームメンバーの紹介

当チームは、エネルギー応用研究所の研究のとりまとめ、ならびに社内外への成果の活用、支援などの調整を行う部署です。メンバーは、専門研究員の佐治チームリーダー以下6名で構成されており、出身部門は配電、火力、工務とさまざまな部門出身者が集まっています。主な業務は研究の長期計画作成から予算・成果のとりまとめならびに研究成果のPRを行っています。当研究所はお客さま技術の研究を始めバイオから環境関連に至るまで幅広い研究分野をてがけていることから、社内外の種々なニーズ調整業務も行っています。

2

業務の一部紹介

(1)研究成果のPR

エネルギー応用研究所は、電気を使う立場に立った お客様サイドの研究から環境分野までの幅広い研究に 取組んでいます。

研究の成果は、マスコミや技術開発ニュース、テクノフェアなどを通じて社外の方々に広くPRしています。また、当チームでは、研究成果をより多くの方々に知っていただき活用いただくための企画計画を実施しています。



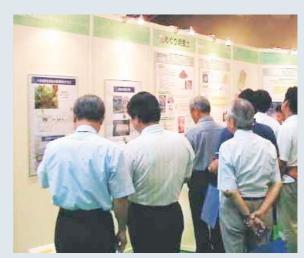
前列左から:松井、佐治チームリーダー、吉田

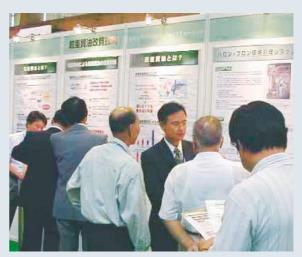
後列左から:柏本、米田、佐藤

例えば、インケム、ウエステック、などの社外イベント出展から、当社開催の省エネルギー関連展示への成果展示PRを行うほか、電気学会、建築学会での研究紹介なども行っています。また、農業団体や地域の企業団体等のご来所に併せて研究PRとともに意見交換も行っています、今後も、皆様から選択される電力を目指した研究企画に取組み、研究成果の活用拡大を目的としたアクティブ広報に心がけて行きたいと考えています。

(2)研究成果の活用

エネルギー応用研究所では、需要拡大のため家庭電化、高効率産業機器の開発を行い営業部と協調し普及拡大を図って来ました。最近では「花めぐり培養土」などの農水産分野から環境分野に至る研究成果を活かした事業化提案にも取り組んでいます。





省エネルギー展示会の模様